



# 平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは  
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2020年12月17日 第 3289 回 週報第 3289 号

本日12月17日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 44(44)名	出席率 70.97%			
前々回12月 3日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 45(45)名	出席率 70.31%	MUP 2名	計 47名	修正率 75.81%

## 本日の卓話者ご紹介

(公社)平塚青年会議所  
第62代理事長 数田俊樹様



## 卓話

### 「1年を振り返って」

(公社)平塚青年会議所  
第62代理事長 数田俊樹

(公社)平塚青年会議所第62代理事長の数田俊樹です。日頃から、平塚ロータリークラブの皆さまには、当会会員が公私共々大変お世話になっておりますこと、心より感謝申し上げます。また、2020年12月17日(木)の卓話においては、僭越ながら講演の機会を与えて頂きましたこと重ねて御礼申し上げます次第です。

さて、2020年は激動の年でありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、経済のみならず、地域自治、教育、医療、文化芸術など、人間の暮らしそのものに大きな影響を与え続けています。「明るい未来を見据えて」、ワクチンの確保や治療方法の確立を誰しもが望んでいるところではありますが、現状として出口戦略の見えづらい戦いが続いております。こうした状況ではありますが、この難局を業界、団体、世代の垣根を越えて、乗り越えていかなければなりません。

我々の団体も苦しい団体運営が続いている状況ではありますが、2020年は約55%の会員増の結果を出すことが出来ました。要因としては、厳しい時代の中でも、

会員同士の情報の共有の徹底、声掛けの徹底、実地開催が難しい時においても、手法を変えながら機会の提供を図り続けてきたことだと思っております。しかしながら会員増は目的ではありません。地域の活性化が重要な目的の一つであります。

2021年は、依然として新型コロナウイルスの脅威が続く時代ではありますが、ポストコロナ社会を見据えて我々も力強く歩んで参ります。引き続き、「明るい未来を見据えて」業界、団体、世代を超えて、様々な場面で連携をさせて頂ければ幸いです。

まだまだ、未熟な会員が多い団体ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



## 会長報告

平塚ロータリークラブは、他のクラブと比べても活動的で勢いのあるクラブだと思います。なぜなら、それぞれの会員が積極的に活動してくれているからです。例えば、先日の情報集会も、コロナ禍でありながら、個人個人がしっかりと動いてくれたことで成功に至りました。

では今以上に、さらに平塚ロータリークラブを活性化させるためにはどうすればいいか。それは、平塚ロータリークラブ、ひいては第2780地区を引っ張ってくれる強力なリーダーシップを発揮できる人物を、リーダーに置くことではないでしょうか。私たちロータリークラブにおけるリーダーは他でもないガバナーです。そして、ガバナーに求められることは、地域や社会の発展を切に願い、より活性化させるために行動できる人物です。そしてその人物は、常盤会員であると私は確信しています。

## 幹事報告

常盤会員は、駅周辺の活性化について、様々なことを行政に提言しています。かつて平塚市が設けた建物の高さ制限に対し、改善を求めています。高さ制限を設けることで、大手デベロッパが手を引き、街の活気が失われる。当たり前のことですが、それを商工会議所の声として行政に申し入れられました。今でもその撤廃運動は続いています。そして記憶に新しいところでは、コロナ禍の中での「ALLひらつか！飲食店サポータープロジェクト」通称「ひらサポ」の成功も常盤会員が大きく寄与されています。

元々は飲食店部会の割烹竹万の関口雄一さんがクラウドファンディングを企画し、行政にこの案を持ちかけました。しかし、色よい返事はもらえず、常盤会員に相談したところ「一人がやっても市は動いてくれないから、俺が動くよ」と率先して行動してくださいました。商工会議所が全面支援をしたことで市も動かざるを得なくなり、結果としては目標金額700万円を大きく上回る1800万円のご支援をいただくことができたのです。

こうした行動力、統率力をもって、常盤会員は地区米山奨学、米山学友会委員長としてもお力を発揮されています。コロナ禍の中、自国にも中々帰れない奨学生達が、アルバイトも出来ず、孤立しがちだったところ、常盤会員は学生達に対して親身になって寄り添い続けました。学生たちからの信頼は絶大であり、地人望の厚さで並ぶ者は他にいないと思っています。まさに地域や社会、そして世界のためになることは何なのか。本気で願い、考え、行動しているからこそ、行政を相手にしても、決して物怖じせず戦うことができ、なおかつ多くの人々から信頼を得ているのではないのでしょうか。

正しいことは正しい。間違っていることは間違っている。そのように声を大にして言える大人が、今どれだけいるのでしょうか。己の正義のために行動し、かつ周囲を巻き込む統率力のある大人が今どれだけいるのでしょうか。

私は常盤会員以外に思いつきません。そして、常盤会員こそ、自ら行動し、周囲を巻き込み、強力なリーダーシップを発揮して平塚ロータリークラブ、平塚市、第2780地区をけん引できる人物だと思っています。先日開かれた理事役員会で2023-2024年度のガバナーとして、ガバナーノミニーに常盤会員を推薦する承認をいたしました。そして平塚ロータリークラブの総意として、会員のみなさまのご賛同を得た上で、正式に常盤会員を推薦したいと考えています。

つきましては、平塚ロータリークラブとして常盤会員を2023-2024年度のガバナーとして、ガバナーノミニーに推薦しても良いという方は、ぜひ大きな拍手をいただけますでしょうか。

……ありがとうございます。みなさまの賛同の拍手をもって、2023-2024年度のガバナーとして、ガバナーノミニーに常盤会員を推薦いたします。みなさま、ご賛同いただきありがとうございます。

## ◎この度地区より、「新型コロナウイルスに関する地区及びクラブ運営ガイドライン」が発行されました。

既に当クラブは検温、手指の消毒、マスクの着用、3密回避、会食への配慮等対策をしておりますが、ガイドラインに則り、今後は着席記録を取ることになりました。そこで、本日より各席に番号記載の紙を置きましたので、着席された会員は名前を記入して下さい。お手数をお掛けしますが、ご協力をお願い申し上げます。

## ◎平塚市聴覚障害者協会より、日本ろうあ連盟製作の映画「咲む(えむ)」の上映会が1月17日開催されるとのお知らせを頂きました。

この映画は、観る人たちに障害者が地域の人たちと一緒に生活していくことの大切さを知らせてくれます。映画の詳しいご案内が受け付けにありますので、ご興味のある方は帰りにお持ちください。

## ◎次週はクリスマス例会ですが、既にお知らせいたしましたように、夜間例会は開催見合わせとなり、通常例会の12:30～13:30までとなります。

また、楽しみにされておりましたご家族には大変申し訳ございませんが、今回は会員のみでの参加となります。親睦委員会の皆さんが、短い時間ですが、少しでも楽しい時間を過ごせるように企画して下さっていますので、多くのご参加をお願い致します。合わせて、1/7のニューイヤーコンサートも夜間ではなく、昼間の通常例会となります。

## 委員会報告

今週の委員会報告はありません。

**メイクアップ (MUP)** 2名

常盤卓嗣会員、柳川正人会員

**本日のスマイル** 18名

**ゲスト** 2名

平塚青年会議所 理事長 数田俊樹様  
平塚青年会議所 専務理事 花田慎介様

**ビジター** 1名

平塚北ロータリークラブ 相原美紀様

## 卓話・行事予定

12月24日(木) クリスマス例会  
12月31日(木) 休会  
1月7日(木) ニューイヤーコンサート

## 市内例会変更

平塚北RC 1月5日(火)→休会

